



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスクリ

コード番号 2196 URL <http://www.escri.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩本 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員管理本部管掌

(氏名) 杉山 慎一郎

TEL 03-5410-8822

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,533	25.5	△8	—	△22	—	△11	—
24年3月期第1四半期	2,018	34.1	△160	—	△179	—	△179	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△3.01	—
24年3月期第1四半期	△48.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,110	1,901	23.3
24年3月期	7,099	1,895	26.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,890百万円 24年3月期 1,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では平成25年3月期の第2四半期末日および期末日の配当予定額は未定であります。

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,348	22.8	△223	—	△257	—	△171	—	△15.09
通期	13,571	26.5	1,481	37.8	1,415	39.3	853	29.4	75.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年7月27日開催の取締役会において、平成24年9月1日を効力発生日として株式1株につき3株の割合で株式分割することを決議しております。このため、平成25年3月期の第2四半期(累計)及び通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出してあります。

詳細は、次ページ「(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものです。詳細は、添付資料のP.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	3,803,798 株	24年3月期	3,784,500 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	202 株	24年3月期	202 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	3,795,908 株	24年3月期1Q	3,730,079 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(株式分割に伴う遡及修正値)

当社は、平成24年7月27日開催の取締役会において、平成24年9月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割することを決議しております。このため、平成25年3月期の第2四半期(累計)及び通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信 添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は以下のとおり機関投資家およびアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成24年7月27日(金)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1 四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済状況は、東日本大震災からの復興需要を背景に緩やかな景気回復の動きがみられるものの、欧州債務危機をめぐる海外景気の下振れ懸念や電力供給不足問題等により依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社は「施設スタイルにこだわらない都市型ブライダルオペレーター」として、東京23区および政令指定都市に展開した挙式・披露宴施設の運営を継続してまいりました。

具体的な新規施設の開業については、平成24年6月に専門式場スタイルである「シャルマンシーナ TOKYO」（表参道事業所）をオープンいたしました。これにより平成24年6月30日現在における当社の施設数は11施設、パンケット数は24パンケットとなっております。

また、八重洲事業所の施設拡大する部分の会場の屋号を「アンジェリオン オ プラザ TOKYO」に決定し、受注活動を開始いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,533,723千円（前年同期比25.5%増）、営業損失8,236千円（前年同期は160,430千円の営業損失）、経常損失22,757千円（前年同期は179,859千円の経常損失）、四半期純損失11,421千円（前年同期は179,781千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における資産総額は8,110,207千円となり、前事業年度末と比較して1,011,081千円の増加となりました。その主な要因は、新規出店に伴い有形固定資産が808,541千円、敷金及び保証金が324,293千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が134,238千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債総額は6,208,530千円となり、前事業年度末と比較して1,005,340千円の増加となりました。その主な要因は、運転資金および設備資金の借入による長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が703,575千円および短期借入金が400,000千円それぞれ増加した一方で、法人税等の納付により未払法人税等が344,429千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産総額は1,901,677千円となり、前事業年度末と比較して5,740千円の増加となりました。その主な要因は、資本金が7,312千円および資本剰余金が7,312千円それぞれ増加した一方で、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が11,421千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の業績は順調に推移しており、平成25年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,401,982	1,267,744
売掛金	27,745	31,199
原材料及び貯蔵品	42,534	41,191
その他	264,163	268,383
貸倒引当金	△802	△695
流動資産合計	1,735,623	1,607,823
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,010,403	3,806,790
その他（純額）	545,692	557,847
有形固定資産合計	3,556,096	4,364,637
無形固定資産	178,156	177,147
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,379,790	1,704,084
その他	249,459	256,514
投資その他の資産合計	1,629,250	1,960,598
固定資産合計	5,363,502	6,502,384
資産合計	7,099,126	8,110,207
負債の部		
流動負債		
買掛金	438,602	330,883
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	965,100	1,118,996
リース債務	89,352	96,272
未払法人税等	351,318	6,888
前受金	454,326	546,563
賞与引当金	—	62,170
その他	867,658	999,662
流動負債合計	3,166,358	3,561,436
固定負債		
長期借入金	1,465,958	2,015,637
資産除去債務	341,376	404,957
リース債務	98,661	107,785
その他	130,834	118,714
固定負債合計	2,036,830	2,647,093
負債合計	5,203,189	6,208,530

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	498, 527	505, 840
資本剰余金	456, 527	463, 840
利益剰余金	932, 216	920, 794
自己株式	△126	△126
株主資本合計	1, 887, 145	1, 890, 348
新株予約権	8, 792	11, 329
純資産合計	1, 895, 937	1, 901, 677
負債純資産合計	7, 099, 126	8, 110, 207

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,018,726	2,533,723
売上原価	723,951	827,399
売上総利益	1,294,774	1,706,323
販売費及び一般管理費	1,455,205	1,714,559
営業損失(△)	△160,430	△8,236
営業外収益		
受取賃貸料	1,990	2,202
協賛金収入	800	2,357
受取祝金収入	1,148	390
その他	761	539
営業外収益合計	4,700	5,488
営業外費用		
支払利息	17,379	14,987
営業協力金解約金	6,666	—
その他	83	5,022
営業外費用合計	24,129	20,010
経常損失(△)	△179,859	△22,757
税引前四半期純損失(△)	△179,859	△22,757
法人税、住民税及び事業税	1,001	△5,717
法人税等調整額	△1,079	△5,618
法人税等合計	△77	△11,335
四半期純損失(△)	△179,781	△11,421

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。